

公益財団法人 8020 推進財団
平成30年度 歯科保健活動助成交付事業報告書抄録

1. 事業名：

むし歯予防対策事業

2. 申請者名：

一般社団法人 宮崎県歯科医師会 会長 重城 正敏

3. 実施組織：

一般社団法人 宮崎県歯科医師会

4. 事業の概要：

本県で平成27年に実施された抜歯の原因調査によると、約6割がむし歯によるもの、約3割が歯周病によるものであり、健康な口腔を育成・維持し、全身の健康に繋げるために、むし歯予防が大きな課題であることが分かる。既に県内各地ではフッ化物洗口が始まり、12歳児のむし歯経験本数（DMFT）が減少しつつあるが、フッ化物洗口を実施している地区とそうでない地区で差が生じているのが現状である。

については、「むし歯予防全国大会」においてフッ化物の有効性を啓発し、正確な歯科保健情報を提供する機会を設けることで、参加者のフッ化物洗口導入意識の醸成を図る。

5. 事業の内容：

「第40回むし歯予防全国大会 in MIYAZAKI」の開催

メインテーマを「健康歯援（けんこうしえん）～フッ化物によるむし歯予防をすべての子どもたちに～」と題して、すべての子どもたちがフッ化物によるむし歯予防の恩恵を受けられるよう、健康増進に繋がる施策や行動について、参加者と一緒に考える機会となることに重点を置き、特別講演と行政・保健師・県歯役員によるシンポジウムを行った。

【 開催要領 】

テーマ：「健康歯援（けんこうしえん）～フッ化物によるむし歯予防をすべての子どもたちに～」

主催：NPO法人日本フッ化物むし歯予防協会

共催：宮崎県歯科医師会、宮崎県、宮崎県教育委員会

後援：日本歯科医師会、8020推進財団、日本学校歯科医会、日本歯科衛生士会、日本口腔衛生学会、日本WHO協会、宮崎県医師会、宮崎県歯科衛生士会、宮崎県歯科技工士会、宮崎県看護協会、宮崎県栄養士会、宮崎県薬剤師会、宮崎県学校保健会、宮崎市、宮崎市郡歯科医師会、宮崎市教育委員会、宮崎日日新聞社、NHK宮崎放送局、宮崎県歯科用品商組合

協賛：日本歯磨工業会

日時：平成30年11月10日（土）午後2時～5時30分

場所：宮崎県歯科医師会館4Fホール 〒880-0021 宮崎市清水1丁目12番2号

参加者：153名（行政関係10名、医師2名、歯科医師77名、歯科衛生士29名、歯科技工士1名、大学教授3名、保健師18名、養護教諭4名、その他教員1名、管理栄養士3名、その他5名）

6. 実施後の評価（今後の課題）：

平成30年11月10日（土）に宮崎で開催した。参加者は153名となり全国から多くの方々が登場された。歯科関係者、行政、学校等の多職種が一堂に会し、フッ化物洗口の意義や各学校で導入する際の具体的な取り組みについて各々の立場から発表を行ったが、フッ化物洗口を含め様々な歯科保健事業は歯科単独で成し得るものではなく、多くの方々のご理解とご尽力により推進できることが良く理解できる大会であった。当県においてもフッ化物洗口未実施の地区や学校は、まだ多く存在するが、今後新たに導入する際の道標となる内容であったと考える。

歯の喪失を減らすことはオーラルフレイル予防や健康寿命の延伸にもつながることが報告されているが、そのためには学齢期だけではなく、すべてのライフステージにおけるフッ化物応用が必要と思われる。今後の課題としては、フッ化物応用による歯の保存の重要性を一般の方々に広く周知することが挙げられる。